参加者
募集！！

パーキンソン病とダンス活動

11・14 PDダンスin京都

パーキンソン病のみなさん、ご家族やご支援者のみなさん、いっしょに「PD ダンス」を体験しませんか？「PD ダンス ®」は、車いすや椅子に座ったまま出来るダンスで、PD には「パーフェクトダンス」と「パーキンソン病」2 つの意味があります。2001 年にニューヨークで始まった「Dance for PD®」を基盤とし、日本では 2016 年から福岡から普及が進められてきました。ダンスを通して身体機能を維持向上させるだけでなく、想像力や創造性を育み、五感を活性化させることで生活の質（QOL）を向上させると国内外の研究で報告されています。
今回は、日本初の Dance for PD® 認定講師で、福岡から全国へ「PD ダンス」を展開しているマニシア氏を招聘し、対面ならではの＜ＰＤダンス・コミュニケーション＞が体験できる場として開催する、京都初の試みです。
パーキンソン病者にとってリハビリや運動とは違う芸術表現との接点を感じる機会となるでしょう。

2026
11 / 14（土）13:30~16:00

定員 35 名
参加費 1,000 円
会場 京都芸術大学 人間館 NA 014 教室
（京都市左京区北白川瓜生山 2-116）
075-791-9122（代表）

大階段を登って左の人間館に入り、あるいは進々堂の右通路からエレベーターで人間館に入り、館内のエレベータでさらに B1F に降りる。降りてすぐ右手側（図書館と逆側）にあるのが NA014 教室

▲アクセス情報

スケジュール

13:00 受付開始
13:30 開会のごあいさつ（井上）
13:45 PD ダンスタイム（マニシア）
14:45 休憩
15:00 ふりかえり・交流タイム
16:00 終了

お申込み・お問合せ

パーキンソン病とダンス研究会（井上茂樹）
メール shigetom@mrj.biglobe.ne.jp
携帯電話 090-7354-5837

PD ダンスファシリテーター／マニシア

ニューヨークにて長期間活動後、福岡を拠点に国内外で多世代かつ多様な方々とコミュニティダンスを展開。ダンス・ムーヴメント・セラピストとしても生きづらさを抱えている人々や支援者を対象とした活動に意欲的に取り組んでいる。マークモーリス・ダンスグループで Dance for PD® の指導者育成講座を修了し、2016 年より福岡で PD ダンス ® を始める。2019 年より「PD ハウス」でも実施。さらに 2024 年日本人で初めての Dance for PD® の認定講師となり、ダンスファシリテーター養成講座にて後進の育成にも取り組んでいる。

パーキンソン病とダンス研究会／代表・井上茂樹

パーキンソン発病から 5 年あまり、いろいろな治療や運動をさがしてきました。そして出会ったのが PD ダンスでした。PD ダンスの普及を目的に 2026 年 5 月に立ち上げたのがこの会です。幸い浄土宗僧侶の友人・森俊英師が事務局長を引き受けてくれ、心強く思っています。

主催：パーキンソン病とダンス研究会（代表　井上茂樹）　共催：一般社団法人パラカダンス